

# 昭和大学大学院 学位論文(修士) 審査基準

学位論文審査は、審査委員会(主査、副査)において、以下の全ての基準を満たすことを確認した上で、厳正かつ公正に審査した結果を、所属大学院研究科教授会において報告し、審議が行われるものとする。

## 1. 論文への貢献と責任

(1) 『昭和大学におけるオーサーシップ・ポリシー』が遵守されている。

## 2. 研究目的の明確性

(1) 研究目的の学術的あるいは社会的位置付けが示されている。

(2) 研究目的が明確かつ適切である。

(3) 研究目的と関連する領域の文献が適切に引用されている。

## 3. 研究方法の妥当性

(1) 研究目的を達成するのに適切な方法が用いられている。

(2) 調査方法やデータの分析方法および手順が適切である。

(3) 研究方法が倫理面において適切である。

## 4. 研究結果と考察の妥当性

(1) 研究結果が図表等を用いて明瞭に示されている。

(2) 研究結果は今後の研究の発展につながる事が認められる。

(3) 先行研究と研究結果に基づいて考察がなされ、研究目的に対応している。

## 5. 研究の独創性

(1) 新規性が期待できる研究である。

(2) 研究成果は継続した研究によって当該分野の発展が期待できる。

## 6. 研究成果の発表能力

(1) 発表において、適切な手法および表現を用いている。

(2) 発表において、専門外の者も内容を理解できるような工夫がなされている。

(3) 質疑に対する的確に回答できる。